TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY 首都大学東京

産業技術大学院大学 ADVANCED INSTITUTE OF INDUSTRIAL TECHNOLOGY
Tokyo Metropolitan College of Industrial Technology 東京都立産業技術高等専門学校

平成 ２９年３月３１日
公立大学法人首都大学東京

2017(平成 29)～2022(平成 34)年度(6年間)を計画期間とする

『公立大学法人首都大学東京第三期中期計画』

を策定しました。

公立大学法人首都大学東京では、2017(平成 29)～2022(平成 34)年度までの６年間にわたる第三期中期計画を策定しました。

2005(平成 17)年度に東京都により設立された本法人は、本年４月から第三期の中期計画期間に入ります。

本計画では、各取組の進捗状況及び成果を把握し、確実に中期目標を達成できるよう、全項目の半数以上に重要業績評価指標(KPI)*を設定しています。今後も、法人の設置する首都大学東京、産業技術大学院大学、東京都立産業技術高等専門学校の各高等教育機関が、それぞれの特色に磨きをかけ、法人のより一層の飛躍に向けた取組に積極果敢にチャレンジしていきます。

第三期中期計画における主な取組

*下線部が重要業績評価指標(KPI)

首都大学東京

【教育・研究】◆ 2018(H30)年度に教育研究組織の再編成（構想中）及び全学的機能の強化を実施します
◆ 高レベルの基礎研究力の維持・強化のため、世界をリードする研究を推進します
【社会貢献】◆ 子供の貧困や火山災害等の都政の課題解決に向けた提言・提案等の都連携を強化します
◆ 学内外に向けたオリンピック・パラリンピックに関する教育活動を通じて、東京 2020 大会の成功に向けた機運を醸成します
【グローバル】◆ 留学促進策を推進し、1,350 人の学生を海外へ派遣します
◆ 在籍留学生数を本学学生の約１割である 900 人に拡大します

産業技術大学院大学

【教育・研究】◆ 企業の新規事業開発や起業・創業を担う人材を育成するカリキュラムを開発します
【社会貢献】◆ AIIT 単位バンク制度の実施など、キャリアアップや学び直しのための学修環境を整備します
【グローバル】◆ グローバル人材の能力指標を新たに作成し、学生の８割が達成することを目指します

東京都立産業技術高等専門学校

【教育・研究】◆ 産業界や社会の人材ニーズを踏まえた職業教育プログラムとして、「情報セキュリティ技術者育成プログラム」「航空技術者育成プログラム」を実施します
【社会貢献】◆ 地元自治体・小中学校と協働し、障がい者等の移動を支援するシステムを開発します
【グローバル】◆ 2021(H33)年度の JABEE 受審に向け、JABEE プログラムに対応したカリキュラムを実施します

法人運営

◆ 国際化、入試改革、東京 2020 大会対応等、社会的動向に即応できる組織体制を構築します
◆ 学生・教員の快適な環境での学習・研究のための、施設・設備の更新・整備を行います

～ 第三期中期計画全文及び概要は法人ＨＰへ掲載しています ～
http://www.houjin-tmu.ac.jp/about/guideline/middle_plan.html

【問合せ先】 公立大学法人首都大学東京 経営企画室 企画財務課
電話：０３－５９９０－５３８６

公立大学法人首都大学東京　第三期中期計画の概要

第三期中期計画の方向性

～一層の飛躍に向けた“選択と集中”による積極果敢なチャレンジの展開～

計画期間：2017（平成 29）年度～2022（平成 34）年度

○国際通用性の高い教育の推進や仕組みの構築により、グローバル社会で活躍できる人材の育成を推進していきます
○卓越した研究力を更に強化するとともに、複雑化する大都市課題などの解決に貢献するための分野横断的な研究を推進していきます
○都の公立大学法人として、東京 2020 オリンピック･パラリンピック競技大会への支援など東京の未来へ貢献していきます
○社会の要請に的確に応えるため戦略的な施策展開を支える法人運営基盤を強化していきます

＊第三期中期計画では・・・・・
各取組の進捗状況を定量的に把握し、確実に成果をあげるため、数値目標や達成目標時期を、**重要業績評価指標（KPI：Key　Performance Indicator）**として設定しました。

第三期中期計画の主要な取組

首都大学東京

「本物の考える力」を身につける教育を進化させるとともに、大都市の先端的課題の解決に資する研究を一層推進し、卓越した研究と質の高い教育の好循環を実現します

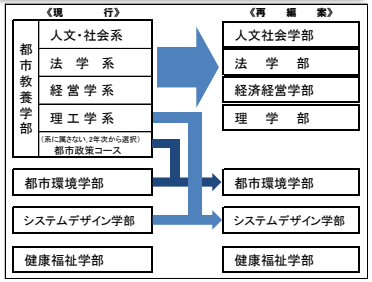
教　育

【第３期 KPI】
☆学部等の再編　**30 年度**
☆TA 等の配置数　**1,000 人以上**
（ｱｸﾃｨﾌﾞ・ﾗｰﾆﾝｸﾞ補助等）

◈「本物の考える力」を身につける教育の進化

・豊かな教養と高度な専門性を備えた国際的にも通用する人材を育成するため、学部等の教育研究組織を再編成し、カリキュラムを再構築します。
・ＴＡ（ティーチング・アシスタント）の活用などアクティブ・ラーニング導入を推進します。
・分野横断的な学びを促す教育の推進に向け、大学院に分野横断型のＴ字型プログラムを導入します。
・全学的な教育改革の一層の推進に向け、教学ＩＲ推進室(※)を設置し、ＩＲに基づく教育成果分析など、教学マネジメントサイクルを展開します。

※ＩＲ：Institutional Research。教育・学修に係るデータ調査・分析を行うこと。



○工学分野の再編･統合
○都市政策科学分野を再構築
○都市教養学部を4学部に再編

【学部の再編成（平成30年度～）＜構想中＞】

研　究

【第３期 KPI】
☆Top10%論文割合　**10%以上**
☆外部資金獲得額 **150%以上増**
（研究センター分）
☆研究センター設置数 **12 拠点**

◈卓越した研究への重点支援・研究拠点の形成

・世界をリードする研究を重点的に支援し、被引用度の高い Top10%論文（※）の割合を高めるなど研究力の維持・強化を図ります。　※Top10%論文：論文の被引用回数が各分野、各年で上位10%に入る論文
・大都市の先端課題解決に向け分野横断的研究ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄを推進するとともに、本学の強みとなる研究分野に戦略的・重点的支援を行い、国際的研究拠点の形成を目指します。

◈戦略的研究支援を行うための研究推進体制の充実

・戦略的に研究活動を支援するため、ＵＲＡ(※)などによる研究マネジメントを強化するとともに、研究施設・設備の戦略的運用体制や研究環境の整備を推進します。
※URA：University Research Administratorの略。研究者とともに研究活動の企画・マネジメント、研究成果活用促進を行う。

【水素エネルギー社会シンポジウム】
（水素ｴﾈﾙｷﾞｰ社会構築推進研究ｾﾝﾀｰ主催）

社会貢献

【第３期 KPI】
☆学際的大型ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ（5,000 万以上）　**10 件以上創設**
☆東京 2020 大会に向けた研究ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ　**5 件以上創設**

◈都民生活の質的向上へ向けた貢献

・子供の貧困や火山災害対策など都政課題解決に向けた解決策の提案、学際的な大型プロジェクトの推進など首都東京のシンクタンクとしての役割を果たすとともに､｢高度金融専門人材｣の育成などにも取組んでいきます。
・大学発ベンチャー支援の促進や企業・地域等との連携により産学公連携を推進します。

－東京 2020 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ・ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸに向けて－

▸大会に関する教育活動を通じて成功に向けた機運を醸成します。
▸大会の成功に資する学際的研究プロジェクトを創設・展開します。
▸障がい者スポーツの理解促進と裾野拡大の取組を展開します。

【首都大ＨＰ（TMU2020）】

グローバル化

【第３期 KPI】
☆学生の海外派遣　**1,350 人程度**
☆外国人留学生受入れ　**900 人程度**
☆国際共同研究等件数　**200%以上**

◈学生の海外派遣、留学生受入の推進

・留学ガイダンスの実施や留学生受入環境の整備などにより学生の海外派遣と留学生の受入を推進していきます。

◈国際通用性のある教育研究体制の整備

・グローバル化を推進するため、四半期制度や科目ナンバリングの導入、国際バカロレア資格等を活用した入試拡大、新英語プログラムの開発、国際副専攻コースの着実な運営を行います。
・互恵的関係を構築できる海外大学との重点的な交流など、国際的な教育研究ﾈｯﾄﾜｰｸを充実し、国際連携の取組を強化します。

【国際副専攻（平成27年度～）】

産業技術大学院大学

産業を活性化するイノベーション人材を育成する高度専門職教育の拠点になります

教育・研究

【第３期 KPI】
☆新規カリキュラム開発　30 年度
☆ｱｸﾃｨﾌﾞ・ﾗｰﾆﾝｸﾞ導入率　全授業の８割
☆大学院説明会参加者数　年間 250 名

◈高度専門職業人育成のための
教育プログラムの展開

・新規事業開発や起業・創業を担う高度人材を養成するため、IT 等の専門技術と経営戦略を融合した教育プログラムを開発します。
・ＰＢＬ型教育やブレンディッドラーニング(※)などアクティブ・ラーニングの拡充、新たな教育手法導入に向けた研究の推進など、高度専門職業人を育成するための実践的な教育をさらに推進します。

※ブレンディッド･ラーニング：録画授業と対面授業をブレンドした教育手法。

【ＡＩＩＴロールモデル集】

◈入学者確保に向けた取組

・ロールモデル集の活用やソーシャルメディア等の多様な広報活動の展開、教職員による企業訪問の強化、大学院説明会の実施など効果的な入試広報により質の高い学生を確保していきます。

社会貢献

【第３期 KPI】
☆東京 2020 大会に向けた PBL　6 テーマ以上実施
☆ﾏﾝｽﾘｰﾌｫｰﾗﾑ参加者数　年間 600 人程度
☆自治体職員向け講座数　年間 10 講座

◈産業振興への貢献・社会人の学修支援

・商工会議所や金融機関と連携した中小企業支援の実施、公開講座等の開催、産業界等と連携した研究を行います。
・AIIT 単位ﾊﾞﾝｸ制度など社会人のｷｬﾘｱｱｯﾌﾟや学び直しのための学修環境を整備します。

－東京 2020 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ・ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸに向けて－

▸オリンピック・パラリンピックに関連するテーマを扱うＰＢＬを実施し、大会の成功に寄与します。

【東京2020大会における多機能ﾊﾟｰｿﾅﾙﾓﾋﾞﾘﾃｨの提案（ＰＢＬ）】

グローバル化

【第３期 KPI】
☆グローバル人材能力指標達成割合　全学生の８割

◈国際的高度専門職業人の育成

・アジアの大学と連携したＰＢＬ等の教育プログラムを展開するとともに、産業界と連携してグローバル人材として獲得すべき能力指標・目標値を設定、国際的高度専門職業人の育成を推進します。

東京都立産業技術高等専門学校

一貫したものづくり教育を担う機関の中枢として国際的に活躍できる技術者を輩出します

教育・研究

【第３期 KPI】
☆情報セキュリティ技術者　50 人以上輩出
航空技術者　20 人以上輩出
☆JABEE 受審　33 年度

◈「都市型高専」の実現に向けた
国際的通用性ある工学教育の展開

・産業界や社会の人材ニーズを踏まえ、情報セキュリティ技術者の育成と航空技術者の育成のための新たな職業教育プログラムを実施します。
・国際的に通用する技術者を育成する教育プログラムを展開し、技術者教育の国際的レベル保障の枠組みであるＪＡＢＥＥ(※)認定を目指します。　※JABEE：(社) 日本技術者教育認定機構
・エンジニアリングデザイン教育やアクティブ･ラーニングを推進し、課題発見･解決型の実践的な教育を展開します。

【航空技術者育成プログラム】

社会貢献

【第３期 KPI】
☆東京 2020 大会に向けたシステム開発　31 年度
☆都職員向け情報ｾｷｭﾘﾃｨ講座　31 年度開講
☆ものづくり技術者育成講座　倍増

◈企業等の人材育成支援の推進

・東京の産業を支えるものづくり人材の育成に貢献するため、小中学校向けの教育プログラム等を実施します。
・東京都職員等を対象とした情報セキュリティに関するリカレント講座の開設など社会ニーズに応える貢献を行っていきます。

－東京 2020 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ・ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸに向けて－

▸障がい者等の移動を支援するｼｽﾃﾑを地元小中学校と協働で開発します。
▸オリンピック・パラリンピックに資する研究を推進します。

【快適環境マップ】

グローバル化

【第３期 KPI】
☆海外体験プログラム参加者数　年間 70 人程度

◈国際的に活躍できる中核技術者の育成

・ものづくり産業のグローバル化に対応するため、海外での企業訪問や調査研究などを行う新たな実践的海外体験プログラムを展開し、世界で活躍できる実践的技術者育成を推進します。

法人運営

【戦略的な法人経営を支える基盤強化等】

・戦略的な法人経営を展開するためのマネジメント体制の強化を図ります。
・プロ職員を育成するなど、グローバル化を支える組織基盤の強化を進めていきます。
・ブランド力向上に向けた戦略的な広報による情報発信を展開していきます。
・新たな教育研究ニーズに対応できるよう計画的に施設設備を更新・整備します。

【2 大学 1 高専の連携の促進】

・２大学１高専が連携して共同の海外交流プログラムを実施します。
・更なる連携を促進するため、新たな連携について法人全体で検討を進めます。

【社会的責任を果たすための体制の強化等】

・情報セキュリティの強化や教育研究活動の不正防止の取組を徹底していきます。
・ダイバーシティの取組を推進し、学生や教職員にとって快適な環境づくりを図ります。